問一　傍線部①～③の漢字の本文中の読みを現代仮名遣いで書け。

竟①【ついに】　具②【つぶさに】　朝③【あした に】

問二　傍線部④は「郷里の人々に、嫌がられていた」という意味である。その意味となるように、返り点をふれ。

為　郷　里　所　患

＊受け身　「為（なル）A（ノ）所（ところト）B（スル）」　AにBされる。

＊「訓点、返り点、送り仮名」の違いを意識しよう。

【為郷里所患】

問三　傍線部⑤「三横」とはそれぞれ何を指すか。本文中の言葉を使って書け。

（　周処　）（　蛟　）（　虎　）

問四　本文中の【　　】に当てはまる語を次のうちから一つ選べ。

ア、於　イ、矣　ウ、而　エ、兮　オ、也

＊置き字

「於・于・乎」…補語の上に置かれる。時間・場所・目的・起点・比較・受け身などを表す。送り仮名は「ニ・ト・ヨリ・ヨリモ」となる。

（例）飢（エテ）死（ス）於（ニ）首陽山（ニ）。

「而」…順接や逆説の接続を表す。直前の語の送り仮名が「テ・シテ・モ・ドモ」などになる。

（例）亡（ゲテ）而（レ）入（ル）胡（ニ）。

「焉・矣・也」…文末で断定・強調・感嘆などの意を表す。

「兮」…詩の中で語調を整える働きをする。

【ウ】

問五　傍線部⑥「相慶」とあるが、人々が喜んだ理由は何か。

【周処が、蛟を追って一緒に死んでくれたと思ったから】

問六　傍線部⑦を現代語訳せよ。

＊抑揚（省略型）

「〜、況（いはンヤ）…（ヲヤ）」…（まして〜なのだから、なおさら…なのは言うまでもない）

【ましてやあなたの将来のことがうまくいくのは言うまでもない】